

合し……道徳的実践力を育成するも  
の」と第三章で示している。

各学校においては、道徳教育及び  
道徳の時間の目標を十分理解して、  
道徳教育を推進しなければならな  
い。

## (二) 道徳的実践の指導

学習指導要領総則の2において「…  
：日常の基本的行動様式をはじめとする  
道徳的実践の指導を徹底するよう配  
慮しなければならぬ。」と示して、  
「道徳的実践」の徹底が強調されてい  
る。

道徳的実践の指導を徹底するには、  
道徳的価値の実現を目指して、児童生  
徒に「よりよい生き方」を具体的な日  
常生活の場面を通して、意図的計画的  
に、自覚させ身につけさせるよう指導  
することである。

各学校では、学校の教育目標との関  
連において、道徳的実践の指導内容や  
指導方法を確立し、実践目標を設定し  
て指導することが必要である。具体的  
には、学校で取り上げる道徳的実践の  
項目を「生活目標」として設定し、各  
学年の指導の重点を定め、年間にわた  
り適切に配当して指導することが必要  
である。その場合は配慮事項は次のよ  
うになる。

- ・生活目標は、具体的に実践可能な  
ものとする。
- ・生活目標は、精選して数少なくす  
ること。

・十分身につくまで指導すること。  
・全職員の共通理解を図り、同一歩  
調で指導すること。

・各教科、道徳、特別活動、その他  
の教育活動との関連を図ること。  
・家庭や地域との連携を図ること。

## (三) 道徳の時間の指導

道徳の時間のねらいは、道徳的判断  
力、道徳的心情、道徳的態度・実践意  
欲を培うことによって、道徳的実践力  
の育成を図ることであり、換言すれば  
道徳的諸価値を自己の自覚として主体  
的に把握し、将来出会うであろう様々  
な場面、状況においても価値を実現す  
るための最も適切な行為を選択し、実  
践することが可能となる内面的資質を  
育成することである。

道徳の時間の指導を充実し、その目  
標を達成するためには、次のことに配  
慮する必要がある。

- ① 道徳の時間を充実させる前提要因  
である、全体計画、年間指導計画の  
充実を図る。

- ② 内容(小28項目、中16項目)はい  
ずれの学年においても指導するもの  
であるが、各学年の指導の重点にか  
かわるものは、数を多くしたり、配  
当時数を多くする。
- ③ 単位時間の指導で主としてねらう  
ものが、道徳性の三様相のどれなの  
かを明確にして指導する。
- ④ 指導方法の固定化、形式化をさけ  
るため、次の諸点に留意する。

ア 年間指導計画の中に指導のねら  
いに即して「指導方法」を取り上  
げておく。

イ 指導過程のそれぞれの段階で最  
も効果的な指導方法及び学習形態を  
工夫する。

ウ 指導の諸方法についての特徴や  
留意点を熟知するとともに、指導  
法に習熟しておく。

エ たえず指導方法の改善と開発に  
努める。

⑤ 導入の段階で時間を取り過ぎて、  
展開や終末の段階が圧迫されないよ  
うにする。

⑥ 資料の分析、再構成に努めるとと  
もに、資料の提示の工夫をする。

⑦ 話し合いが重要な役割を果たすこ  
とが多いので、話し合いを活発にし  
るための基盤となる学級内の人間関  
係をよりよいものにする。

⑧ 児童生徒が十分に考えたり、感じ  
たりすることができるように、基本  
発問を精選する。

⑨ 当初の計画にのみ固執することな  
く、児童生徒の反応をみて、弾力的  
に他の指導法を取り入れる。

⑩ 教師の一方的なおしつけにならな  
いようにする。道徳的判断力を高め  
る指導においては、葛藤場面に立た  
せることによって、主体的に価値に  
迫らせるとか、心情を高める指導で  
は、多面的に広い角度から切りこみ  
感情をゆさぶるようにする等の配慮  
をする。

⑪ 児童生徒の知識や生活経験の実態  
を的確に把握し、実態に即した指導  
を進める。

⑫ 学級指導等の教育活動との関連を  
十分配慮しながら指導する。

## (四) 道徳の時間の評価

道徳の時間における評価は期待され  
る道徳性が児童生徒にどの程度身につ  
いたかを問題としなければならぬ。

① 道徳的判断力の評価観点  
・どれだけ善悪についての知的な理  
解ができるようになったか。

・どれだけ正しい道徳的判断が自主  
的にできるようになったか。

② 道徳的心情の評価観点  
・道徳的に善である望ましい考え方や  
生き方に対し喜びや楽しさを感じ  
ずる感情が、どれだけ育ったか。  
・望ましくない考え方や生き方に対  
し、けんおや怒りを覚えるような  
感情がどれだけ育ったか。

③ 道徳的態度、実践意欲の評価観点  
・善を行い悪を避けようとする意志  
の表れや、行動への構えが、どれ  
だけ定着したか。

児童生徒の道徳性が、どれだけ育つ  
たかを確かめる方法の一般的なものを  
次にあげる。

- ① 道徳的判断力の評価方法  
・観察による方法  
・質問紙による方法  
・作文による方法
- ② 道徳的心情の評価方法  
・観察による方法  
・作文による方法